



# 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 1 月 30 日

上場会社名 日本農産工業株式会社

（コード番号：2051 東証・大証 第一部）

（URL <http://www.nosan.co.jp>）

代表者 代表取締役社長 堀尾 守

問合せ先責任者 執行役員業務推進部長 富沢 健

（TEL：(045) 224 3703）

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容)

- ・法人税等の処理・・・法定実効税率をベースとした簡便な方法によっています。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

- ・連結（新規）- 社 （除外）- 社 持分法（新規）1 社 （除外）- 社

## 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	88,188	(4.4)	3,325	(108.6)	3,510	(112.7)	2,090	(85.7)
17 年 3 月期第 3 四半期	92,203	(11.1)	1,594	(12.8)	1,650	(8.2)	1,125	(21.7)
(参考)17 年 3 月期	119,541		2,145		2,265		1,374	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	17	01	16	97
17 年 3 月期第 3 四半期	9	18	9	17
(参考)17 年 3 月期	11	03	11	02

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当連結第 3 四半期までのわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や、雇用・所得環境の改善による個人消費が堅調に推移するなど、景気はデフレ脱却に向け、息の長い回復を続けています。

飼料・畜産業界においては、昨年夏に茨城県等で発生した鳥インフルエンザは終息するに至っていませんが、鶏卵相場が比較的堅調に推移していることなどから、鶏用飼料を含め全畜種合計の全国飼料生産数量は前年同期をやや上回る状況で推移しています。

このような状況のなか、飼料事業では畜産飼料の販売数量は当中間期同様順調に推移していますが、売上高は 4 月と 7 月に値上げし、10 月に値下げしたものの、前年同期の飼料価格が高水準にあったことから、前年同期に比べ下回りました。

食品事業では、「ヨード卵・光」は当中間期同様、消費者の求める安全・安心志向と拡販努力により大きく増加するなど、売上高は前年同期を上回りました。

ライフテック事業は、当中間期に引き続きパイオ新分野とペット療法食が順調に売上を伸ばしていますが、そのほかのペットフードがやや苦戦をしている状況にあります。

以上の結果、売上高は 881 億円（前年同期比 96%）、経常利益は 35 億 10 百万円（前年同期比 213%）、四半期純利益は 20 億 90 百万円（前年同期比 186%）となりました。

事業別状況は以下のとおりです。

### 【飼料事業】

水産飼料は、東北地区の銀鮭用の拡販努力が実を結び大きく伸長したものの、九州地区のハマチ用・マダイ用が低水温による食下量の停滞などで低調でした。収益面では、市場競争厳しく魚粉等の原料コスト上昇を吸収するに至らず、前年同期を下回りました。

一方、畜産飼料の販売数量は、畜産物相場が比較的堅調に推移するなか、積極的な拡販等により前年同期を上回りました。収益面では、製造数量増加によるコストの削減効果や配合飼料価格安定基金積立金負担が前年同期比半減したことなどから、前年同期に比べ大幅な増益となりました。

この結果、営業利益は30億57百万円となり、前年同期に比べ12億65百万円増益となりました。

#### 【食品事業】

「ヨード卵・光」の販売数量は、消費者の安全・安心に対する関心の高まりを背景に積極的な販促活動に取り組んだ結果、家庭用の伸長のほか業務用が大幅に増加し、前年同期を上回りました。また、期初から第3四半期までの平均鶏卵相場は、キログラム当たり190円と、ほぼ前年同期並みに推移したなかで、鶏卵農場子会社においては生産性の向上、総コスト削減に引き続き取り組んだ結果、収益は前年同期を上回りました。

この結果、営業利益は7億92百万円となり、前年同期に比べ3億97百万円増益となりました。

#### 【ライフテック事業】

ペットフードは、療法食が好評で順調に売上を伸ばし、なかでも犬用アレルギー療法食は前年同期比2倍と大幅に伸長していますが、収益面では、既存のフードなどの売上が振るわず、前年同期をやや下回りました。

バイオ新分野は、薬物代謝受託試験の幹旋などのADME/Tox(薬物動態及び毒性試験)分野が前年同期比124%、遺伝子免疫法の抗体作製受託などの蛋白発現分野が同193%と順調に伸長しています。

この結果、営業利益は4億21百万円となり、前年同期に比べ90百万円の増益となりました。

以上の結果、11月4日発表(中間連結決算短信)の通期連結業績予想に対する売上高、経常利益、四半期純利益の進捗率は以下のとおりです。

- ・売上高 881億円(進捗率75%)
- ・経常利益 35億10百万円(同98%)
- ・四半期純利益 20億90百万円(同107%)

#### (2)財政状態(連結)の変動状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	64,263	22,774	35.4	185 16
17年3月期第3四半期	62,394	19,800	31.7	161 68
(参考)17年3月期	56,897	20,186	35.5	164 30

#### 【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	2,374	765	1,786	292
17年3月期第3四半期	719	1,631	773	294
(参考)17年3月期	3,129	2,172	920	470

#### [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は平成17年3月末と比較して7,366百万円増加し、株主資本が2,587百万円増加した結果、株主資本比率は35.4%となりました。

増減の主なものは、資産では受取手形及び売掛金が5,585百万円増加しました。負債では、支払手形及び買掛金が5,595百万円増加しました。また長短借入金が1,058百万円減少しました。

#### (連結キャッシュ・フロー)

##### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前第3四半期純利益3,403百万円、減価償却費1,632百万円及び仕入債務の増加5,595百万円があったことにより、売上債権の増加5,588百万円、法人税等の支払801百万円、その他の流動資産の増加1,105百万円等がありましたが、2,374百万円の増加となりました。

##### 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出1,452百万円などにより765百万円の減少となりました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払 612 百万円及び借入金の減少 1,064 百万円などにより、1,786 百万円の減少となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結第 3 四半期末残高は 292 百万円となり、前期末に比べ 178 百万円の減少となりました。

#### 3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

業績予想の変更はありません。

#### [ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当社グループの経営環境は、原料相場の上昇にともない 1 月から畜産飼料価格を値上げしました。その後、為替相場がやや円高基調となっておりますが、畜産物相場、鳥インフルエンザの影響など不安定要因もあるため、現時点においては既に発表した通期の業績予想は据え置きます。

## 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部	当第3四半期 (17.12.31)	前 期 末 (17.3.31)	比較増減	前第3四半期 (16.12.31)	負 債 ・ 資 本 の 部	当第3四半期 (17.12.31)	前 期 末 (17.3.31)	比較増減	前第3四半期 (16.12.31)
流 動 資 産	32,380	26,338	6,041	31,766	流 動 負 債	33,701	28,520	5,180	34,036
現金及び預金	292	470	178	294	支払手形及び買掛金	17,284	11,689	5,595	16,160
受取手形及び売掛金	22,420	16,834	5,585	21,735	短期借入金	10,783	11,449	665	12,837
たな卸資産	5,710	5,515	195	5,825	そ の 他	5,633	5,382	251	5,038
そ の 他	4,126	3,733	393	4,168	固 定 負 債	7,788	8,190	402	8,556
貸倒引当金	169	214	45	257	長期借入金	5,435	5,828	392	6,107
固 定 資 産	31,883	30,558	1,324	30,627	退職給付引当金	818	1,488	669	1,503
1 有形固定資産	20,687	20,882	194	21,117	そ の 他	1,533	873	660	946
建物及び構築物	8,557	8,498	59	8,334	負 債 合 計	41,489	36,710	4,778	42,593
機械装置及び運搬具	6,193	6,029	164	6,259	少 数 株 主 持 分	-	-	-	-
土 地	5,408	5,434	25	5,435	資 本 金	7,411	7,411	-	7,411
そ の 他	527	920	393	1,088	資 本 剰 余 金	2,753	2,742	10	2,732
2 無形固定資産	556	357	199	377	利 益 剰 余 金	11,581	10,126	1,455	9,877
3 投資その他の資産	10,639	9,318	1,320	9,131	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,122	1,045	1,076	963
投資有価証券	8,787	6,640	2,146	6,471	自 己 株 式	1,094	1,139	45	1,184
そ の 他	2,194	3,046	852	2,950	資 本 合 計	22,774	20,186	2,587	19,800
貸倒引当金	214	240	26	290	負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	64,263	56,897	7,366	62,394
投資損失引当金	128	128	-	-					
資 産 合 計	64,263	56,897	7,366	62,394					

## 四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

摘 要	当第3四半期 自 17. 4. 1 至 17.12.31	前第3四半期 自 16. 4. 1 至 16.12.31	比 較 増 減	前 期 自 16. 4. 1 至 17. 3.31
売 上 高 価	88,188	92,203	4,015	119,541
売 上 原 価	74,774	79,534	4,759	102,912
( 売 上 総 利 益 )	( 13,413 )	( 12,669 )	( 744 )	( 16,629 )
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	10,087	11,074	987	14,483
営 業 利 益	3,325	1,594	1,731	2,145
営 業 外 収 益	501	384	117	585
受 取 利 息 及 び 配 当 金	93	85	8	97
そ の 他	408	298	109	487
営 業 外 費 用	316	327	10	465
支 払 利 息	160	218	58	280
そ の 他	156	109	47	184
経 常 利 益	3,510	1,650	1,859	2,265
特 別 利 益	26	430	403	431
固 定 資 産 売 却 益	7	430	422	431
そ の 他	18	-	18	-
特 別 損 失	134	282	148	506
固 定 資 産 売 除 却 損	134	65	68	169
そ の 他	-	217	217	336
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	3,403	1,798	1,604	2,190
法人税、住民税及び事業税	1,293	658	634	800
少数株主利益	19	13	5	16
第3四半期(当期)純利益	2,090	1,125	964	1,374

(注)第3四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

## 四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期	前第3四半期	前 期
	自 17. 4. 1 至 17. 12.31	自 16. 4. 1 至 16. 12.31	自 16. 4. 1 至 17. 3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前第3四半期(当期)純利益	3,403	1,798	2,190
2. 税引前利益の調整			
減価償却費	1,632	1,758	2,523
引当金の増減( )額	790	291	259
その他の増減( )額	510	725	183
3. 資産及び負債の増減			
売上債権の増( )減額	5,588	4,234	684
棚卸資産の増( )減額	197	183	126
その他の流動資産の増( )減額	1,105	918	17
仕入債務の増減( )額	5,595	3,569	901
その他の流動負債の増減( )額	738	1,054	95
4. 法人税等の支払額	801	1,107	1,130
合 計	2,374	719	3,129
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 固定資産の取得による支出	1,452	2,075	2,500
2. 固定資産の売却による収入	30	520	521
3. 投資有価証券等の増( )減	137	13	12
4. 貸付金の増( )減	163	8	97
5. その他投資等の増( )減	629	71	279
合 計	765	1,631	2,172
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減( )額	930	1,668	300
2. 長期借入金による収入	1,339	1,390	1,690
3. 長期借入金の返済による支出	1,473	1,346	1,947
4. 配当金の支払額	612	554	554
5. 自己株式の取得による支出	1	171	171
6. 自己株式の処分による収入	57	7	62
7. その他の増減( )額	164	220	299
合 計	1,786	773	920
現金及び現金同等物の増減額	178	139	36
現金及び現金同等物の期首残高	470	433	433
現金及び現金同等物の第3四半期(期末)残高	292	294	470

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

摘 要	当 第 3 四 半 期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)						
	飼 料 食 品 ライフテック そ の 他 事 業 事 業 事 業 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結			
売 上 高	68,723	12,328	8,840	634	90,527	(2,338)	88,188
営 業 費 用	65,666	11,536	8,418	639	86,260	(1,397)	84,862
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ( )	3,057	792	421	4	4,267	(941)	3,325

(単位：百万円)

摘 要	前 第 3 四 半 期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)						
	飼 料 食 品 ライフテック そ の 他 事 業 事 業 事 業 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結			
売 上 高	73,047	12,131	8,616	747	94,543	(2,339)	92,203
営 業 費 用	71,255	11,736	8,285	737	92,014	(1,405)	90,609
営 業 利 益	1,791	394	330	10	2,528	(934)	1,594

(単位：百万円)

摘 要	前 期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)						
	飼 料 食 品 ライフテック そ の 他 事 業 事 業 事 業 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結			
売 上 高	93,797	16,128	11,725	1,425	123,077	(3,535)	119,541
営 業 費 用	91,607	15,540	11,231	1,364	119,744	(2,348)	117,396
営 業 利 益	2,189	588	493	61	3,332	(1,186)	2,145

#### (注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

#### 2. 各事業の主な製品及び事業内容

- (1) 飼 料 事 業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
- (2) 食 品 事 業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
- (3) ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品
- (4) そ の 他 事 業・・・建築請負、不動産管理及び役務等

#### 2. 所在地別セグメント情報

本国以外での売上高及び営業損益はありません。

#### 3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しました。